

別記様式（第5条関係）

平成30年度第1回瑞穂町廃棄物減量等推進審議会 会議録

- 1 日 時 平成30年12月13日（木曜日）
10時00分から12時00分まで
- 2 場 所 瑞穂町役場3階委員会室
- 3 出席者 町 長 杉浦裕之
会 長 鳥海勝男
副会長 田中 勇
委 員 根岸八千代 中野裕子
内山恵美子 岡本日吉
小沼 修 日野元信
村野香月 福井啓文
事務局 住民部長 横澤和也
環境課長 野口英雄
清掃係長 石塚幸雄
- 4 欠 席 者 吉川洋子
- 5 議 題 (1) 廃棄物の現状について
(2) ペットボトルラベルの取扱いについて
(3) その他
- 6 傍 聴 者 0人
- 7 配布資料 平成30年度第1回瑞穂町廃棄物減量等推進
審議会次第
資料1 瑞穂町廃棄物減量等推進審議会委員
名簿
資料2 月別ごみ搬入量（前年度比較）
資料3 廃棄物の現状

資料4 ラベル付きペットボトルの収集
冊子 『環境報告書』発行：西多摩衛生組合

8 会議内容

(1) 開会 自己紹介（略）

(2) 挨拶 （略）

(3) 議題

■議題1 廃棄物の現状について

(事務局) 配布資料と冊子の確認（略）

(鳥海会長) それでは審議を開始致します。

議題1「廃棄物の現状について」、事務局より資料の説明を求めます。

(事務局) 資料1～3を基に説明。

(鳥海会長) ご質問のある方はご発言をお願い致します。

(岡本委員) ごみが増えている理由として事業所が増えているという話がありましたが、増えているのはどのような事業所ですか。

(事務局) 登録してある事業所などを見ると、やはり飲食関係が多いと感じています。入れ替わりで、例えば新青梅街道ですと新しい店が建ったりもしています。今年に関しては事業系も減ってきていますが25年度から伸びているのはこういったことが原因と感じています。

(岡本委員) 商工会でも、資料を基に皆さんに周知できる範囲が高まりました。何とか伝えていきたいと思いますので、増えている業者さんを確認したかったです。

(鳥海会長) よろしいでしょうか。他にありますでしょうか

か。

(根岸委員) 今の商工会の関係もそうですけど、ご家庭では無駄にならないように食品ロスを注意しながらやっていますけれども、業者関係にデータを見て減ってないところは指導をしていった方がいいと思います。

(鳥海会長) 回答をお願いします。

(事務局) 今の根岸委員の回答ですが、やはり西多摩衛生組合の展開検査で開けてみますと、コンビニエンスストアのおにぎりやお弁当がそのまま入っているものが多く見受けられています。見ていてももったいないと感じますし、何かリサイクルのいい方法があれば環境課でも調べていきたいと思います。

(根岸委員) もう一つよろしいですか。以前NOレジ袋マイバックキャンペーンを開催していましたが、結局イオンモール系は2円を支払って有料だけれども、オリンピックやジョイフルはまだ無料で袋をくれます。業者側もある程度有料にした方がNOレジ袋マイバックキャンペーンは浸透できるのかなと思います。その辺はまだ無料の所にアタックしていないのでしょうか。

(内山委員) それに関して。2020年から、レジ袋が有料化になるらしいです。今2円や5円で売っていますが、その金額だと皆さん買ってしまふ。なので、もう少し高い値段、10円くらいにすれば皆さん持ってくるのかなと思います。今のところは事業者任せになっていると思います。

(鳥海会長) 事務局の方からコメントをお願いいたします。

- (事務局) 今内山委員からお話がありました通り、レジ袋の有料化の義務付けが検討されています。レジ袋をもらわずにマイバックを持ってくる人も増えると思いますので、その辺のところは明確になりましたら、またこの廃棄物減量等推進審議会等でご意見等をお伺いする機会があるかと思います。先程部長の方でお話もありましたけれども、動向が注目される所です。
- (中野委員) 今根岸委員がおっしゃっていた有料というのは、ジャパンミートなどでは2円引きしてくれる。その値引きを10円20円にすればいいと思います。
- (事務局) 確かに値引きという方法もあります。あとは消費者の心理として、払う方に抑止力があるのか、値引きされる方に抑止力があるのか。私としては払う方に抑止力があるのではないかという印象はありますが、これが値引きで20円引かれるなど、そういう状況になった時にどうかと。私の心情としては払う方に抵抗がある気がします。いずれにしても、有料化になるということは値引きになるのではなく払う方向になるという印象があります。
- (根岸委員) 一般の新聞で八王子市がすごく減量していると伺いました。たかが一枚2、3円のごみ袋にしても、徹底した廃止運動をしたのはすごいと思いました。一人当たりが出すごみの量も減ったみたいですね。
- (事務局) 今の根岸委員の意見ですが、私の勉強不足もあり実態把握ができていないので、どのようにして減量になったのか、これに関しては調

べさせてください。

(鳥海会長) ありがとうございます。続いて日野委員。
(日野委員) 学校を代表して少しお話をさせていただきたいと思います。学校では子供たちに資源の大切さやリサイクルや3Rなどの話もしています。例えば学習発表会などの大きな道具なども次回使えるものは取っておく、使えないものは処分する。お祭りでもできる限りごみを出さないということで、ある物を使ってできる限りイベントをやろうとしている。子供たちも意識をしっかりと高めることで家庭に帰って親に意識などを伝えていければいいかなと思います。別件ですが、以前勤めていた地域で学校としては非常に厳しく、紙一つでもティッシュ以外は燃やせないごみでリサイクルできるということで分別をしていました。そこで質問なのですが、例えば地域でのお祭りをやった時に、大量のごみが捨てられているという状況がありました。瑞穂町でもいくつかお祭りやイベントがありますが、そういうところでは出されるごみに対して、どのような対応を取っているのですか。結構な量があると思うのですが。

(事務局) 例えば夏にやる3地区の大きなお祭りなどではそこで集めて収集業者に収集していただいています。そこでも分別の方はしっかりやっています。

(日野委員) 例えば、分別はすると思いますが出来るだけごみを出さないような働きかけを何かしていますか。大きなイベントに対して保護者や地域の方々に環境意識を持たせるような働きか

けも大事だと感じています。

(鳥海会長) ありがとうございます。何かご意見はありますか。

(事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。現状としてはそこまでの意識啓発が出来ていないので、機を見てそういった取り組みについてもできるように図っていきたいと思っています。

(小沼委員) 長岡町や春日町でも祭りをやったりしますがやはりごみの減量に繋げるのは難しいのかなと思います。話は変わりますが、羽村市が生ごみを捨てないでたい肥を作り、ベランダの花などの肥料にしているそうです。羽村市のコミュニティセンターでは勉強会もしている。そういうことをすれば少しは生ごみの減量に繋がるのではないかなと思いました。

(鳥海会長) 事務局から何か意見はありますか。

(事務局) 先程小沼委員からお話のあった羽村市の件についてはどのような形で今やっているのか確認しておきます。

■ 議題 2 ペットボトルラベルの取扱いについて

(鳥海委員) 他になければ次に行きたいと思います。

それでは議題 2 ペットボトルラベルの取扱いについて、事務局から説明をお願い致します。

(事務局) それではペットボトルについて説明させていただきます。資料 4 をご覧ください。

資料の読み上げ<略>

(鳥海会長) ご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

(小沼委員) ペットボトルのラベルについて、広報紙あるいは町内会の回覧で周知していますが、瑞穂町全体で町内会の加入率は 45% で非常に厳しい、要は半分にも満たない家庭にしか回覧

ができない。私ども春日町の地域は約650世帯、その中で加入率は約26%、168世帯ほどです。残った方をみると、隣近所で以前は加入されていました。ペットボトルの回収を見てみると、未加入者はやはりラベル付きです。ただ、直接はお話ができないのが現実でございます。ですから回覧ではなく、全戸配布すべきですが、これは費用との関係がある。であるならば来年度の収集カレンダーの中に一枚チラシを入れるなどすればいいと思います。

(鳥海会長) ありがとうございます。何かご意見ありますか。

(事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。ペットボトルの取扱いについては、やはり一番目に付くところを考えていきたいと思っています。なるべく多くの人に目にしてもらおう方法を今後も考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(根岸委員) 以前は潰して水の中に入れると自然にラベルが取れるようになっていましたが。なぜ変わったのでしょうか。

(鳥海会長) 事務局の分かる範囲でお願いします。

(田中副会長) 先によろしいですか。今根岸委員からペットボトルの話が出ているのですが、処理業者としましては、現状の処理は中国を中心に廃プラが受け入れできなくなっている。なので相当な廃プラが余ると思います。今までは中国がなんでも受け入れてくれたのですが、人口の増加と、リサイクルの進歩のために日本から輸出しているものは全部止められてしまっ

た。これからペットボトルだけじゃなくて廃プラ全体がそういう状況になってきますので、これから汚れた廃プラは恐らくリサイクルできなくなってくる。日本の国内でも相当余ってきます。今はうちでもペットボトルのリサイクルをやっているのですが今は行政がやっているところは受け入れてくれる。だけど民間でやっているのは受け取れないところがいっぱいある。売れなくなってきたので、お金を出して処分してもらわないといけなくなっています。ペットボトルの材質も薄くなって、変わってきている。一年以内に相当な雑紙類が今まで中国に輸出していたものが出来なくなると思いますよ。これからは考えている以上に雑紙類のリサイクルを徹底してやらないと日本の古紙やプラスチックは余っていくと思います。これは役所だけじゃなくて個人的に協力していかないと。

(鳥海会長)

事務局からありますか。

(事務局)

ただいま田中副会長からお話のありました通り、事業所によって処理の仕方、使っている機械などの違いがあると思います。私が昨年見た事業所は、ペットボトルを裁断した後に細かくなったものを風力でラベルとペットボトルに分けていたのですが、先程お話にもあったように、最近ペットボトル自体が薄くなってきているので、それによる分離ができなくなるところが増えてきました。ペットボトルとラベルですと、ペットボトルの方がリサイクル材料としての品質がいいということも聞いておまして、できるだけペットボトルだけ

の材料としての純粋さを保ちたいというところがあります。今回は時期的に申し上げますと、平成29年の12月に正式な通知がありまして、そこから動き出したものですから1年間の予備期間にさせていただいたという事情がございます。

(鳥海会長) 他によろしいですか。

(岡本委員) ペットボトルというのと、どうしても自販機から排出されるものの処理費、これをどうするかについてですが、一般家庭はある程度協力していただいて何とかなるかなと思うのですが自販機から出てきたもので町が回収することはあるのでしょうか。

(事務局) 自販機の横に置いてあるゴミ箱に入れられたもののことでしょうか。

(岡本委員) そうです。

(事務局) これについて町は収集していません。自販機の業者がカンやペットボトルを回収しています。

(岡本委員) 仕分けをできるようなケースなどに分別しながら入れるみたいな、そういう形になっているものは業者が中々持って行かないところが多いというか、会社だとか個人が所有している形の自販機はどうしてもキャップやラベルを取り外せない状態で入れてきているという感じがする。業者が全部回収できるような形になればいいですけどね。約20%近くラベルが付いている状態だとすると、それは一般の家庭から出ているものがそういう状況なのかということですよ。それを一般家庭が協力してくれればゼロになるということであれ

(事務局) ばもうそこだけで対策はいいと思うのですが。町で回収しているのは基本的にはご家庭から出されているものだけですので、先程の20%ほどのラベル付きのものについてもまだ一般の家庭から出されているものとして認識しています。

(鳥海会長) 他にありますか

(根岸委員) ペットボトルを透明か半透明の袋に入れるとおっしゃっていましたが、あれはレジ袋ですよ。それを今後はどうするかという問題はどうしましょう。紙袋に入れるわけにはいかないし、最近はお漬さないでとも言われてますよね。そうするとすごくかさばるんですね。綺麗に洗ってくださいますというのわかりますが水道水をジャージャー流して綺麗に洗うと、これもまた資源の問題ですし、いろいろな問題が起きてきます。とりあえずはレジ袋をどうするかというのを聞いてみたいです。

(事務局) お答えします。今の町の出し方は洗っていただいてビニール袋に入れて出してくださいということなのですが、理由としましては今ペットボトル自体がかなり軽量化してしまっていて、ビンやカンをかごに入れて出していただけてますが、同じようにしてもらおうと風で結構飛ばされてしまって、集合住宅などから苦情が来てしまいました。結構散乱しているという話もありまして、袋に入れてもらったものはリサイクルプラザに搬入されますが、処理の過程の中で袋を破く設備になってますので袋に入れて出していただけてます。散乱防止が今のところ町の中で一番考えているところ

です。

(鳥海会長)

他にどなたかいらっしゃいますか。

それでは無いようですので、次に議題3その他についてですが、事務局の方から何かありますか。

■議題3 その他

(事務局)

まずご報告になります。町の尿処理は、くみ取りをしているところと浄化槽を使っているところがございます。現在、町ではし尿につきましては青梅のし尿処理場に直接搬入しており、浄化槽汚泥については、他の民間の業者に搬出していたのですが青梅の処理場が2年に渡って回収工事を行いまして、浄化槽汚泥についてもそこに搬入できることになります。青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町でその改良工事に携わっていまして3市1町が4月からし尿と浄化槽汚泥について一緒に処理することになりましたのでご報告いたします。

(鳥海会長)

その件について何かご意見はありますか。

(岡本委員)

教えていただきたいのですが、今下水の方でくみ取りしなければならぬ家庭というのはどのくらい残っているのでしょうか。

(事務局)

30年4月現在の数字になりますが、くみ取りが98世帯196人になっています。

(岡本委員)

地域はバラバラですか。

(事務局)

大体でよろしいでしょうか。多いのが調整区域になっていまして、元狭山、長岡地区。そちらが多いです。まだ下水管が入っていないところですね。

(鳥海会長)

他にはありますか。なければ次に行きます。

(事務局)

これもご報告になりますが、前回の会議で話

題にもなった高齢者のみ世帯のごみ収集時の見守り活動の件についてですが、これにつきまして、町の収集業者と話をして高齢者のみ世帯で感じることはあるか確認しました。意見の中で、作業員が毎日同じわけではないので変化に気づけないところもあります。たまにしかごみを出さない人もいるのでその点については判断が難しいかなということでありました。まず収集の現場では高齢者のみの世帯なのかというのはわからないということで、それもわからない原因ではないかと言っていました。あと集合住宅では高齢者世帯だけじゃない人もごみを出すので判断がしづらいということをやっていました。あとですね、燃やせるごみしか出さない人や毎回ではなく大きな袋に入れて溜めてから出す人もいるので判断が難しいと聞いております。以上が報告になります。こういう課題があるので、どうしていくかはまた考えていかなければならないと思います。

(鳥海会長) ありがとうございます。他にございますでしょうか。

(小沼委員) 長岡地区には会館が2つあるのですが、私どもが利用しているのが長岡南会館でございます。定期的に外の草取りをされているわけでございますけれども、草取り後の草、去年は猛暑の時期もあり草が非常に高く生えてしまった。そのごみを春日憩いの会にお願いしています。草を基本的には会館の周りに穴を掘って埋めたと。しかしながら膨大な量になった関係もございましてそれを何とか回収し

てもらいたいとご相談を受けたこともございます。基本的には家庭ごみとして一旦持ち帰って出してくださいというようなお話もあってそれをやってきたのですが、なんせごみの量が多いと。係長にお話ししたら連絡をくれれば回収に伺いますというようなところでございますが、私の基本的な考え方として敷地内を清掃した後のごみについては塵芥車による立ち寄りをすればそれで済む話じゃないのかなと。係長にはその都度ご連絡をしています。そうではなくて塵芥車が常に立ち寄る、ないならないでよしということで実施していただきたいと思います。

(鳥海会長) これは長岡だけじゃなくて多分他の地域も同じようなことをやっているとは思いますが、環境課の方で何かありましたら。

(事務局) 町内会さんにはいろいろ草刈りですとか管理・運営の方にご協力いただきましてありがとうございます。その件につきましてもまた個別にお話し合いをしていきたいと思しますのでまたよろしく願いいたします。

(小沼委員) 塵芥車が通るコースだと思うんですよ。隣接している民家がございますので。その際に寄っていただければいいのかなと。たまたま私も1期2年で受けている関係もございますので、私も後任の会長にあまりそういうことは伝えたくないなど。もう一つの私ども春日公園、過去の経緯はわかりませんが草取りをしています。草取りはしたのだけど出入り口の一か所に集めて置いておきますと塵芥車がきて回収してくれると、そのような情報を私も

確認しましたので、それと同じやり方でいいのではないのかなと。あえてご連絡する必要もないのかなという思いでございます。

(事務局)

役場としても、手間は増えてしまうのですが草は少し乾かせば減量になるので、そういった件も含めてまたお話し合いをさせていただければと思います。どうでしょうか。

(小沼委員)

あと、ふと思い出したのですが、会館のところの植木が結構多いですね。町内会の人たちで協力し合って手入れを年1回実施してございます。なんせ手入れをしたらその手入れの剪定枝は今有料で渡しています。この有料で支払っている部分だけ逆に補助していただけないものかなと。あるいは持込してもよいということであれば、有料なのか無料なのかということもございますので、どちらを取ったらいいのかなと。大体やると2万円くらい、これは町内会の会費から支払っていますというのが現実です。本当に町内会費で支払う費用なのでしょうかというようところでございます。ただ、管理費というところで頂いているところもあるのでそのバランスはあるのかなと思っています。

(事務局)

ただ今のお話ですが、廃棄物の処理手数料については、例規に則ってやっている中ですのでその中でどういう対応ができるかというのは改めて担当課の地域課を含めて研究させていただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

(鳥海会長)

他にございますか。

(中野委員)

減量するのに、結果を出すには着地点をはっ

きりさせるのがいいのかなと思うのですが、そのために例えばペットボトルのごみの回収がいい回収ができたという数値が分かるようにするとやりがいがあるのかなと。例えば町内対決のように、どこの町内が一番綺麗に回収できました、燃やせるごみの減量が進みましたなど、数字で主婦の人たちが分かりやすい数字、パーセンテージじゃなくて具体的な数字が出るとただ良いことをやっているというだけでなく、意識とかやる気とかに繋がるのかなと思いました。あとは町内会に入っている人が瑞穂町は50%以下ということでしたが、例えばペットボトルの出し方、分け方を逆に利用して地域のコミュニティに利用できないかなと思いました。私は引っ越して1年なのですが、挨拶しに来てくれる人は来てくれるがどんな人が住んでいるのか、家族構成も分からない。一軒家なのに、分からない地域になってしまってきているのは非常に残念だなと思っているのですが、当然町内会にも入らない人たちなので、うまくペットボトルの回収の仕方が変わりましたよという感じでピンポンしに行く分には他愛のない会話になるので、コミュニケーションが取りやすいかなと思いました。町内会のメリットは災害時にどんな人が住んでいるかが把握できているのが大きなメリットだと思うのですが、そういうきっかけが今なくて私は困っていたので、ペットボトル知っていますかという理由だったら一軒一軒回りやすいかなと思いました。それを面倒くさい仕事と思う人もいる

と思いますけど、是非それでコミュニケーション取りたいという人も地域には私のような人もいると思うので、きっかけになるかなと思いました。あと初めの話ですが、コンビニなどの食べられるごみが捨てられているという話ですが、一方で子ども食堂とって、貧困が問題になっている食べられていない子供、朝ご飯を食べてきていない子供、貧しくて、シングルマザーなどでお腹を空かせている子供を何とかできないかということで、地域で食堂を立ち上げているところもあると聞くのですが、そこをうまく利用できないかなと思いました。コンビニのように余っているところと足りないところをうまく利用できないかなと。コンビニ食を子供たちに食べさせればよいとは思いますが、多くの人知ればアイデアが出てくるのかなと思いました。

(鳥海会長)

いくつか提案がありました事務局の方で何かコメントがありましたらお願いいたします。

(中野委員)

もう一ついいですか。ペットボトルの出し方についてなのですが、例えばスーパーのリサイクルに出しているプラごみ、トレーや牛乳パックなどはかなり綺麗に回収されていると思います。ペットボトルもそのような形で回収すればかなり綺麗な状態で回収されると思うので、当然に回収されるという意識ではなくて、買ったものは自分で綺麗にしてまた基に戻すという習慣を作っていければいいと思います。たばこの増税や、消費税が10%になるというのであれば、ごみ袋こそ50円とかにすればいいと思います。

(鳥海会長)

事務局の方からお願いします。

(事務局)

貴重なご意見いただきましてありがとうございます。まず、地区別の着地点のことにつきましては、環境課の方でもごみの収集量については地区別の数字が出てはいるのですが、目的を叶えるまでのものが出来るかどうかというのは研究が必要かなと思います。また、その他のご意見につきましては、関係する課に情報提供等はさせていただいて、情報共有はしていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

(鳥海会長)

では村野委員

(村野委員)

子ども食堂についてですが、瑞穂町の四小地区のところでは30年の3月くらいから月に1回くらいはボランティアの団体の方が関心を示してくれています。貧困のお子さんについてですが、対象者をその方だけに絞ってしまうと、そちらに行っているお子さんが周りの人の目から見ると経済的に苦しい人の家の子ばかりなんだなということで、いい影響というよりは悪い影響に進んでしまう。子ども食堂は他の23区の方でも何年も前からやっているんですね。そういった影響もあるので、どなたでも来てもいいですよという形の子ども食堂を瑞穂町のボランティアの団体はやってくれていまして、これを他の地区の団体もやってくれればいいなと思うのですが、一つ目はスタートしたというところでは

(鳥海会長)

ありがとうございました。他にありませんでしょうか。

(小沼委員)

ペットボトルを出すときにレジ袋という話が

今出ていますけども、基本的には半透明のビニール袋ということで買って来た袋を使っているのが現状です。先程ご説明のあった中で、強風の中で散乱するのが非常に多いというお話を伺っております。ビンやカンは一家庭で特定の入れ物、風で飛ばない、ああいう形式ではできないのかなど。そうすれば各家庭でペットボトル用の入れ物に入れて、要は飛ばない容器に入れて家の前に置くと。であるならばわざわざ半透明の袋も不要なのかなど。

(事務局) 収集の工程でも車に積んで走っているときに落としてしまってもそれも問題でして、今のやり方でやらせていただきたいというのが環境課の考えです。

(鳥海会長) それでは以上を持ちまして第3議題に関する審議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

(事務局) 鳥海会長、会議の進行ありがとうございました。最後に閉会といたしまして、田中副会長から閉会の挨拶をお願い致します。

(田中副会長) 本日大変お忙しい中長時間にわたりありがとうございました。慎重に審議していただきまして色々なご意見がでました。本日は以上を持ちまして閉会させていただきます。ご協力ありがとうございました。